

第 20 期 pES club step4 大会歯学生シナリオ

2021 年 6 月 20 日

日本歯科大学附属病院 総合診療科

加藤 智崇

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

あなたは、ピコデンタルクリニックに勤める卒後 5 年目の歯科医師です。ある日の介護施設への訪問診療で、初診の葉賀亜留代さん（88 歳，女性）が歯ぐきから出血していると介護職員から相談を受け、早速診察を行いました。

あなた 「葉賀さん、こんにちは。歯科医師の〇〇です」

葉賀さん 「どうも」

あなた 「歯ぐきから血が出ているようですが、お痛みはありますか？」

葉賀さん 「あら、そうなの？」

あなた 「そのようです。お口の中を見せていただけませんか？」

葉賀さん 「イヤ！何するの?!」

当初、診療を拒否していた葉賀さんも、あなたの優しい声かけと診療に対する真摯な態度で、徐々に協力してくれるようになりました。葉賀さんは上顎は無歯顎で総義歯を、下顎は両側臼歯が欠損し部分床義歯を使用しています。出血の原因は、下顎前歯の慢性歯周炎と診断しました。

歯周治療と口腔ケアが必要と考え、あなたは葉賀さんに歯磨き指導を始めました。しかし葉賀さんは重度の認知症（HDS-R：8 点）で、自身での歯磨きには限界があるため、介護職員に日常の口腔ケアを依頼することにしました。

あなた 「お忙しいと思いますが、葉賀さんに口腔ケアをしていただけませんか」

介護職員 「そうですね、できる限りやってはみますが・・・」

介護職員は、葉賀さんの口腔ケアにやや後ろ向きのようなようです。そこであなたは、介護職員が口腔ケアに取り組みやすくなるよう、文書でアドバイスすることにしました。

課題：介護職員が葉賀さんに口腔ケアを行うにあたっての説明文書を、A4 用紙 1 枚で作成してください。